

— iPhone/iPad のスイッチコントロールを実現するオールインワンアダプタ —
iOS 専用スイッチコントロールアダプタ 「コネクトエール」を発売



コネクトエール
ConnectYell

品名	コネクトエール
型番	AYL-WT021W
希望小売価格	20,000 円（税抜）
発売日	2025年2月25日



コネクトエール HP

アクセスエール株式会社は iPhone/iPad のアクセシビリティの機能の一つである「スイッチコントロール」を行うためのアダプタ「コネクトエール」を 2 月 25 日より弊社契約販売店および弊社ネットショップから発売開始します。

Apple 社の iPhone/iPad などの iOS を搭載した機器には、手の不自由な方が外部スイッチを使って iOS 機器を操作するための「スイッチコントロール」機能が備わっています。

この機能を使えば、手が不自由で iPhone/iPad をうまく操作できない、と言う方でも、肘、足、ほほなど身体のわずかに動く部位で入力スイッチの ON/OFF の動作を繰り返すことで iOS 機器のほぼすべての操作を行うことができます。



iPhone のスイッチコントロールの例

この入力スイッチと iOS 機器を有線で接続するアダプタは様々なものが発売されていますが、そのほとんどは入力スイッチの信号を USB 端子の信号に変換するだけで、iOS 機器に電源も同時に供給するには、さらに電源端子を接続するための分岐アダプタを接続する必要があるなど、複雑になりがちでした。

また、その分岐アダプタも USB-C と Lightning の異なる端子でそれぞれ準備する必要があり、コストアップの原因となっていました。

iOS 機器専用の入力スイッチ接続アダプタ「コネクトエール」はそのような課題を解決します。1 つのアダプタで入力スイッチと電源の両方を同時に接続可能で、さらに、USB-C と Lightning の両方の端子に対応しました。開発に際してクラウドファンディング「READY FOR」で開発資金を募集、約 1 カ月半で 362 名／467 万円の開発支援を頂き、今回の発売に至りました。

#社会にいいこと #ガジェット #医療・福祉 #テクノロジー #web・アプリ #障害者 #発達障害 #介護 #難病

身体障害者がiOS機器をスイッチで操作できるアダプタを提供したい！

松尾光晴

成立

iPhoneやiPadをスイッチで操作できる シンプルなアダプタを開発！

ご協力ありがとうございます！
あなたのシェアで345人がプロジェクトを訪れました。

支援総額
4,670,000円 目標金額 3,500,000円

支援者 362人 募集終了日 2024年8月31日
支援履歴の確認はこちら

<https://readyfor.jp/projects/i...> コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます

Facebook X LINE note

READY FOR ホームページ : <https://readyfor.jp/projects/iOS-Adapter>

iPhone／iPad をスイッチコントロールで操作したいという方で、接続が判りやすいものが欲しい、複数の端子に対応したものがいい、という方にはぴったりの商品です。

主な特長

1. 本アダプタ 1 台で入力スイッチの信号変換と電源の 2 つの機能を搭載、単純な接続で機器を安定して操作できます。
2. USB-C と Lightning^{※1} の両方の端子に対応、ほぼすべての iOS 機器で使うことができます。
3. アダプタ本体にも動作確認のボタンと信号 ON 時の確認 LED を搭載。
万一のトラブル時も簡単に原因特定、解決ができます。

※1 Lightning 端子との接続では、製品付属の専用ケーブルのみの対応

【お問い合わせ先】

アクセスエール株式会社 担当：松尾 TEL：072-646-7260/FAX：0 072-626-1113

電子メール : info@accessyell.co.jp

ホームページ URL : <http://www.accessyell.co.jp/>

ネットショップ URL : <https://accessyell.myshopify.com/>



アクセスエール社 HP

【特長の詳細】

1. 本アダプタ 1 台で入力スイッチの信号変換と電源の 2 つの機能を搭載

iPhone や iPad をアクセシビリティのスイッチコントロールで操作するために必要な、入力スイッチと電源の 2 つの機能が本アダプタ 1 台で完結します。



表面のケーブル接続例



背面のケーブル接続例

アダプタの接続方法には有線接続と無線接続があります。無線接続は Bluetooth 通信を使い配線が邪魔にならないというメリットはありますが、通信が切断するというトラブルは避けられません。特に身体の不自由な方が利用する場合、自分で再接続の操作ができないケースが多く、支援者のサポートが不可欠です。そのため有線接続の方が安定していて安心なのですが、従来の有線接続では、電源の供給機能は備えておらず、「入力スイッチの信号を USB に変換するアダプタ」と「入力スイッチの USB 信号と電源を合流させるアダプタ」の 2 つを連結させる必要がありました。



2 つのアダプタを連結した従来の接続例



コネクテールの接続例

そこで本アダプタは入力として①入力スイッチ信号と、②電源（USB-C）を、出力として 1 本の USB-C ケーブルだけを iOS 機器に接続すればよい構成にしました。これにより煩わしい複数の部品の接続を不要とし、機械に不慣れな支援者でも簡単に接続できます。さらに、本アダプタと iOS 機器を接続する USB-C/USB-C ケーブルは脱着式としたことで、ケーブルの長さを調整^{※2}でき、本アダプタの固定場所の自由度を高くしました。

また、本アダプタのスライドスイッチを切り替える事で入力信号を「マウス左クリック」にすれば、iOS の視線トラッキング機能※³ 利用時の「確定」操作も可能です。

2. ケーブルの差し替えだけで USB-C と Lightning の両方の端子に対応

iOS 機器の接続端子は、現在は USB-C が主流ですが、まだまだ Lightning 端子の機器を使っている方も多いと思います。本アダプタはケーブルを交換することで USB-C と Lightning 端子の機器の両方に対応することができます。本製品には両方のケーブルが付属していますので、購入後すぐにいずれの端子を備えた iOS 機器でも接続できます。



USB-C の機器 (iPhone15Pro) に接続した例



Lightning の機器 (iPhone6S) に接続した例

3. アダプタ本体にも確認用のボタンと LED ランプを搭載

うまく動かない? という時の確認のため、本体にも入力スイッチ 1、2 に対応するボタンと、入力時に点灯する青色の LED を搭載。本アダプタ単体でスイッチ操作の確認ができるので、トラブルの解決も簡単です。

※ 2 : USB-C 端子の iOS 機器のみ

※ 3 : iOS18 以降を搭載した視線トラッキング機能搭載機種のみ



【動作確認 OS】

iOS 15.8~18.3.1、iPadOS15.8~18.3.1、macOS 11 Big Sur 以降 (Windows、Android は動作保証外です。また、将来の iOS、iPadOS、macOS のアップデートでの対応を保証するものではありません。)

【注意事項】

●本アダプタでは入力スイッチを介して「スペース」「リターン」「マウス左クリック」のいずれかの信号を iOS 機器に入力するための機器です。その後のスイッチコントロールの操作方法については、iOS 機器の取扱説明書をご覧ください。●本製品は日本国内の電源を想定して設計されています。日本国外ではご使用いただけません。

※iOS、iPhone、iPad、macOS は Apple Inc.の商標です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

Android は Google Inc.の登録商標です。

【アクセスエール株式会社の概要】

所在地	大阪府茨木市西駅前町 6-22-301
資本金	500 万円
代表取締役	松尾 光晴
設 立	2020 年 2 月